

スパークスマン

From 中華人民共和国駐大阪総領事館



VOL.27 2023年12月

Spokesman From Consulate-General of The People's Republic of China in Osaka

手を携えて共に歩み 共に未来を創ろう ——薛劍総領事による新年挨拶



新しい年を迎えるにあたり、中国駐大阪総領事館を代表いたしまして、業務エリアの2府12県におられる華僑同胞、中資企業の職員、留学生の皆様、そして長きにわたって中日関係の発展を見守り支持を続けてこられた日本各界の友人の皆様に、謹んで新年のご挨拶とご祝福を申し上げます。

2023年は中国が困難を克服し、研鑽を積み奮闘する年でした。複雑で厳しい国内外の情勢に対し、我々は質の高い発展に導かれつつ中国式現代化の推進を堅持し、経済の持続的回復を推進し、発展レベルの堅実な向上を実現し、社会の調和と安定を維持することができました。我々は新型コロナウイルスの予防と抑制においては重大な決定的勝利を収め、人類史上最多の人口を持つ大国が、パンデミックからの脱出を遂げるという奇跡を起こしました。さらに我々は成都ユニバーシアードや杭州アジア大会などの重要なスポーツ大会を成功裏に開催し、スポーツによって平和、団結、包容を促進しました。また、「一带一路」イニシアティブ提唱10周年にあたり、第3回「一带一路」国際協力サミットフォーラムという国際的な盛会を成功裏に開催し、グローバル発展イニシアティブとグローバル安全保障イニシアティブに統いてグローバル文明イニシアティブを提唱し、人類文明の発展と人類現代化のプロセスの推進に向けて中国の知恵を提供し、中国の力を貢献しました。

2023年は中日関係が初心を振り返り、逆風に向かって前進する年でもありました。国交正常化50周年を記念する熱が冷めやらぬまま、中日平和友好条約締結45周年の大切な節目を迎えることとなりました。習近平主席は岸田文雄首相とサンフランシスコで1年ぶりに再会し、戦略的互恵関係を全面的に推進する両国関係の位置づけ、そして新時代の要請に合致する建設的で安定した中日関係を構築することを再確認し、両国関係の将来の発展のために前進する方向性を示し、重要な政治的指針を与えてくれました。両国各界は百回以上の記念行事を開催することで、条約の精神を再び思い起こし、平和友好を伝承するブームを引き起こし、中日関係の改善と発展のためにエネルギーを蓄えました。

中国駐大阪総領事館にとって、2023年は実り豊かで多

彩な年でした。我々は友好を堅く守り、コンセンサスを結集し、第6回西日本地区中日友好交流大会を成功裏に開催し、各界の有識者と共に条約締結の初心に立ち返り、両国の友情を語り合いました。我々は心を込めて接し、文化交流で友情を高め、仏教、茶道、美術、音楽、漢字など多種多様な文化交流イベントを積極的に展開し、物心両面共に豊かな中日関係の構築を推進しました。我々は草の根に分け入り、広く友達を作り、共に田んぼで田植え・稲刈りし酒造や果樹園で見学し、民間友好の火をともしました。我々は両国民の間にある障壁を通り抜き真実を伝え、日本人の方々を新疆ツアーへ案内し、大学生訪中団、関西地区の友好団体訪中団を数多く組織し、両国民同士で実際的・客観的・全面的な相互認識をはぐくみ、相互信頼と友情を増進しました。我々はキャンパスを訪れ、若い世代に着目し、中日青少年交流を強く推し進め、中日友好事業の後継者にその思いを伝えるべく努力してきました。

過去を振り返れば、業務エリア内の多くの日本の方々が中日友好のために前向きに奔走する様子から、地方各界の対中交流に向けた積極的な意欲を感じたものでした。中日両国の平和的共存、世々代々にわたる友好、互恵協力、共同発展は、両国人民の根本的利益に合致し、両国民の共通の声でもあり、隣国としての相応しい付き合い方です。まさに敬隣永安（隣人を敬えば未永く安寧が得られる）ということです。中日関係がいかに変化し、いかなる困難に直面しても、双方が相互尊重を堅持し、友好の信念を確かなものにし、4つの政治文書の原則精神を守りさえすれば、中日関係は必ず正しい軌道に乗って前進し続けるでしょう。

将来を見据えて、中国は質の高い発展を堅持し、高いレベルの対外開放を推進し、中国式現代化をもって世界各国の現代化の実現に新たな動力を提供します。中日両国がより高いレベルの互恵・双赢の実現及び戦略的互恵関係の全面的推進にも新たなチャンスをもたらします。私は業務エリア内の各界の方々と共に、友好の伝統を引き続き発揚し、各分野の交流と協力を深め、両国民の相互理解と信頼を更に促進し、新時代の中日平和、友好、協力の新しい一章を綴っていく所存であります。

中国駐大阪総領事

薛劍

二〇二三年十二月

1月8日

中国は新型コロナウイルス感染症の対策を「乙類乙管」に調整する。中国の新型コロナウイルス予防と制御政策における重大な調整であり、人命と健康を最大限に保護し、経済社会発展への影響を最小限に抑えた。

3月10日



第14期全国人民代表大会の第1回会議で新たな国家指導者が選出され、習近平氏が全会一致で中華人民共和国主席および中央軍事委員会主席に選出された。

サウジアラビアとイランの両国代表は中国の仲介のもと北京で対話し、三国による共同声明の署名が行われた。両国は外交関係を復活し、各分野における協力の展開に合意したと発表。

4月26日

中国軍隊はスーダンに海軍艦艇を派遣し、スーダンに残る中国人を引き取った。中国海軍による華僑撤退の実施はこれで3回目となり、軍艦を動員して外国の港に寄港して行う撤退任務は2度目となる。

5月18日から19日まで

中国・中央アジアサミットが陝西省西安市で行われた。6カ国の首脳は中国と中央アジア5カ国の友好交流の歴史を全面的に振り返り、各分野における協力を総括し、未来の協力の方向性について展望し、未来を見据えてより緊密な中国と中央アジアの運命共同体を構築することで一致した。

5月30日

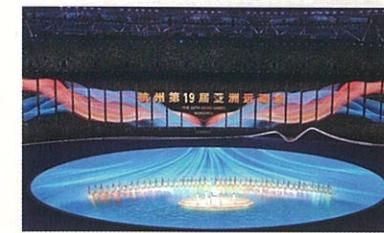
有人宇宙船「神舟16号」を搭載したキャリアロケット「長征2号F遙16」が、酒泉衛星発射センターで打ち上げられた。乗組員の健康状態は良好で、打ち上げは無事成功した。

7月28日から8月8日にかけて



第31回ユニバーシアード夏季大会が成都市で開催され、113の国と地域から6500人の選手が参加した。中国選手団は103個の金メダルを獲得し、メダルの総数は178個だった。金メダル数、総メダル数ともにトップで、ユニバーシアード史上最高の成績となった。

9月23日から10月8日にかけて



第19回アジア競技大会が杭州市で開催され、アジア45の国と地域から1万人以上の選手が参加した。中国はアジア競技大会史上最多の金メダル201個、メダル383個を獲得し、11回目のアジア競技大会金メダルランキング1位となった。

10月17日から18日にかけて



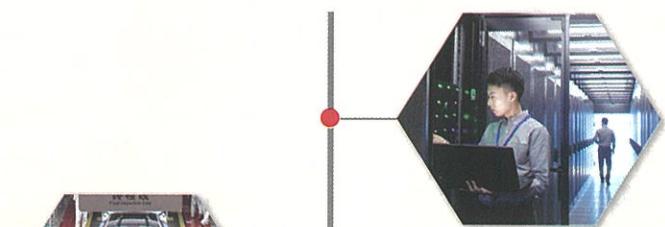
第3回「一帯一路」国際協力サミットフォーラムが北京で開催。151カ国と41の国際組織代表が参加し、登録者数が1万人を超える、「一帯一路」共同建設の大きな吸引力と世界的影響力を示している。習近平主席は開幕式で基調演説を行い、10年の成果を振り返るとともに経験を総括し、質の高い「一帯一路」共同建設に向けた「8つの行動」を発表し、「一帯一路」の新たな方向性を明確にし、新たなビジョンを開き、新たな力を注入した。

11月14日から17日にかけて

習近平主席は6年ぶりに訪米し、バイデン大統領と中米首脳会談を行い、中米関係にかかる戦略性・全局性・方向性の問題と、世界平和と発展に関する重大な問題について率直に深く意見交換を行った。さらに招きに応じ、アジア太平洋経済協力会議（APEC）第30回首脳非公式会議に出席した。

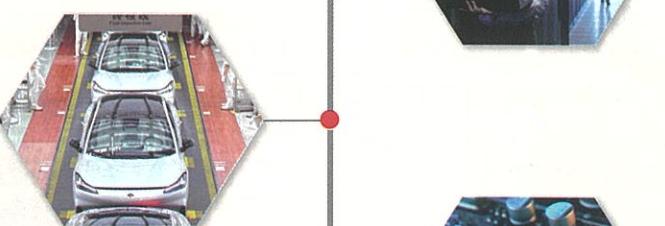
735万2千台

2023年1月から10月までの新エネルギー自動車の生産販売台数はそれぞれ735万2千台と728万台で、前年同期比で33.9%と37.8%増加。8年連続で世界1位となった。



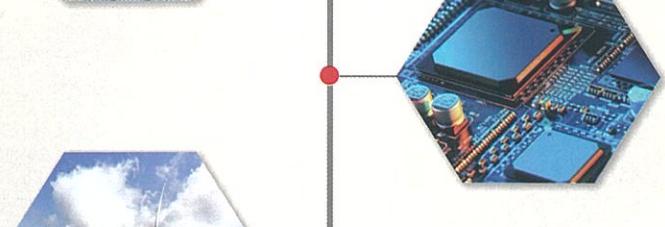
30%

目下、中国の総コンピューティング能力は世界第2位で、過去5年間における年平均成長率は30%近くに達している。



11.1%

2023年1月から10月までのハイテク産業への投資は前年同期比で11.1%増加。

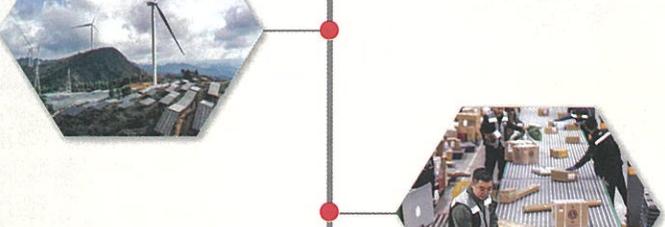


14億キロワット

中国全土の再生可能エネルギー発電設備の規模は14億キロワットを突破し、世界一を維持している。

1200億件

2023年12月4日現在、中国の宅配便年間業務量は1200億件の大台を突破し、10年連続で世界トップとなった。



2万6400件

2023年1月から10月までの水利建設投資額は11179億元で、新たな水利プロジェクトの着工件数は2万6400件だ。

2億492万トン

中国の保有船団規模は2億492万トンに達し、世界最大の船舶保有国となった。

6.2%

一定規模以上の設備製造業の10月の付加価値額は前年同期比で6.2%増加し、3ヶ月連続で上昇した。

4万3700キロメートル

2023年11月末現在、中国の高速鉄道運行距離は4万3700キロメートル超え、世界1位を保持。

10万3千社

累計10万3千社の「専精特新（専門化・精密化・特徴化・新規性）」中小企業と小巨人企業（高い成長性または大きい発展のポテンシャルを持つテクノロジーイノベーション中小企業）1万2千社を育成。

新質生産力 (新たな質の生産力)

習近平総書記は2023年9月に黒竜江省での視察と調査を行った際に、「新エネルギー、新素材、先進製造、電子情報などの戦略的新興産業を積極的に育成し、未来産業を積極的に育成し、新たな質の生産力を形成を加速し、発展の新たな原動力を増強する必要がある」と提案。「新質生産力」は生産力の移行を意味しており、テクノロジー・イノベーションが主導的な役割を果たす生産力を指す。従来の成長戦略から質の高い発展を遂げるための生産力であり、デジタル時代における融合性を有し、新たな意味合いを体现する生産力でもある。



顕眼包 (目立つ存在)

外見や性格で注目を集める人を指す。元は「でしゃぱり」「目立ちたがり屋」などネガティブなイメージで使われる言葉だったが、今はほめ言葉として使われることが多く、本来の意味合いは失われつつある。内面的な活力や可愛らしさ、面白さ、愉快な気分にさせてくれる人を指し、「人とは違う」ことが好まれ、個性や多角的な視点に共感する人が増えていることを示している。

双向奔赴 (互いに歩み寄る)

関係する人々が共通の目標に向かって共に努力し、互いに歩み寄ること。人々が互いに慕い合い、歩み寄るという素晴らしい願いを表現している。習近平主席が2023年11月に米国の友好団体の合同歓迎パーティーで重要な演説を行った際、「善意と友好のささやかな流れが広い太平洋を天険とせず、人々が互いに歩み寄ることで、中米関係を谷底から都度正しい道へと戻す」と指摘した。個人から国家に至るまで、「双向奔赴」は両国民が中米友好事業により積極的に身を投じ、中米関係の健全な発展のためにより多くのプラスのエネルギーを蓄積するための源となる。

村超 (村サッカーリーグ)

「農村サッカースーパーリーグ」の略語。2023年5月13日、貴州省黔東南ミャオ族トン族自治州ガジュマル県で「和美農村サッカースーパーリーグ」が開幕。統計によると、その後の「村超」一開催あたりの最高入場者数は6万人超、オンライン閲覧数は480億回超、抖音(ティックトック)での再生回数130億回超と、過去記録を塗り替えた。異彩を放つ「村超」に続くべく誕生した「村BA」(農村バスケットボールリーグ)や「村排」(農村バレーボールリーグ)などが、驚異のエネルギーと独自の魅力で話題をさらっている。

特種兵式旅游 (特殊部隊式旅行)

文化と観光への消費が回復を続けたことで、「特殊兵式旅行」がネット民の魂に火をつけた。この新しい旅行スタイルは費用や時間をかけずに多くの観光スポットを巡る強行軍を指す。現地の歴史、文化、風土、人との巡り合いを「特殊兵式旅行」で体験するさまは、ながら特殊作戦の任務遂行のよう。



人工智能大模型 (大規模AIモデル)

人工知能における大規模AIモデルとは、極めて大規模なパラメータ(通常10億個以上)、極めて豊富な計算能力を持つ機械学習モデルのこと。膨大なデータを処理し、自然言語処理や画像認識などの様々な複雑なミッションをこなす。コンピュータのハードウェア性能が向上を続け、ディープラーニングアルゴリズムの迅速な最適化が実現することで、大規模AIモデルの発展は日進月歩だ。大規模AIモデルをベースにしたAI応用は続々と誕生しており、ChatGPTや「文心一言」などは、社会的生産活動や人々の生活に広く影響している。

『流浪地球2』: 未来の宇宙旅行



中国の有名SF作家・劉慈欣氏の同名小説が原作のSF映画。太陽崩壊の危機に瀕した人類は地球上に1万基の惑星エンジンを建設し、地球ごと太陽系を離脱し新天地を探そうと試みる。その過程で出会い、終末期の災いと生命存続という2つの挑戦が描かれている。視覚的インパクトに加え、人類文明の継続について考えさせられ、全人類が運命を共にし、団結と協力で危機に向かうというストーリーが観客の共感を呼び、公開されるや全世界での興行収入は6億ドル近くを記録。中国本土を代表し、第96回アカデミー賞最優秀国際映画賞を争った。

『満江紅』: 伝統と現代が融合した一大合戦



時代は南宋の紹興年間、將軍・岳飛と暗殺された金国の使者が携行していた密書を軸に、下級将校の張大と孫均の賢明かつ勇敢な行動から、民衆が抱く家族や国家への誠実な気持ちを表現。独自の視点と卓越した技術をもって、中国の伝統文化と現代のエッセンスを巧みに融合させ、南宋紹興年間の変わりゆくさまと数々の素晴らしい登場人物の運命を壯麗な絵巻に描き出す。映画史上における6項目の記録を塗り替え、累計観客動員数9178万人、2023年の中国映画興行収入ランキング首位となった。

『長安三万里』: 美しい風景と文化の饗宴



歴史を背景に神話伝説と英雄伝説を融合させた中国アニメ。唐代で吐蕃が西南を侵攻し、いくさで立場が危うくなった高適は、長安にも危機が及ぶに至って孤立した城内に取り残される。そこで宦官らに李白との思い出を回顧し、さらに王昌齡、王維、杜甫など唐代の賢人にも触れる。盛唐の文人墨客を間近に感じ、盛唐の文化やその社会での思考と追求を垣間見られることから、国潮(中国の伝統文化と現代文化の融合)アニメの発展を大きくけん引する作品となった。

『封神』: 壮大な神話の叙事詩



監督をモンゴル族のウルソン氏が、メインキャストを人気俳優の費翔、李雪健などがつとめた作品。中国古代神話をもとに、姜子牙、ナタク、雷震子など神話上の人物が、魔神封印のためにスリリングな戦いを繰り広げる。壮大ないくさのシーンや幻想的な神話要素、美しい特撮が観客の心をつかんだ。多様な視覚効果で卓越した技術を披露すると同時に、中国の伝統的で優れた文化に新たな生命を吹き込んだ。

『中国卓球』: 卓球にかけた熱い日々



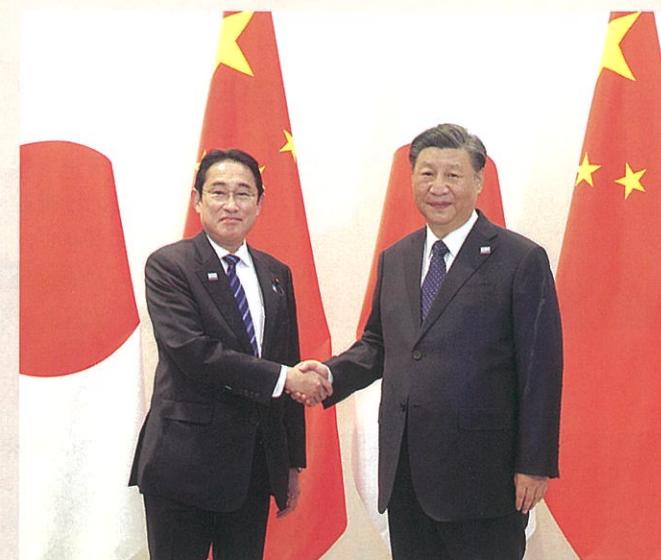
1990年代の中国卓球男子チームがモデルの作品。国際試合での輝かしい瞬間で中国卓球チームの実力と団結精神を再現し、選手個人の物語と成長過程を描くことで、輝かしい成果の背後にある苦しみと栄光を表した。堅持、努力、団結、奮闘などの中国のスポーツマンシップで、観客にエールを送る。

中国乒乓



2月18日

中国共産党中央政治局委員で中央外事工作委員会弁公室の王毅主任は、ミンヘン安全保障会議出席の際に、当時の林芳正日本外相と会見し、中日関係と一部の国際地域問題について意見交換を行った。



3月31日

中国共産党中央政治局委員で中央外事弁公室の王毅主任は、北京で日本の元首相でボアオ・アジアフォーラム前理事長の福田康夫氏と会見した。王毅氏は福田氏の長年の中日友好への貢献を賞賛し、より多くの日本各界の人々が中日関係改善に積極的な役割を果たすことを望んだ。

4月1日から2日にかけて

当時の林芳正日本外相が訪中し、李強総理及び王毅主任と会見した。

7月5日から6日にかけて

李強総理と王毅主任は個別に日本国際貿易促進協会の河野洋平会長率いる訪中団と会見。中日関係や経済貿易協力などについて意見交換を行った。

10月23日

李強首相と岸田文雄首相は中日平和友好条約締結45周年の祝電を交換した。

10月23日

中国人民对外友好協会と中日友好協会が北京で中日平和友好条約締結45周年記念セレブレーションを共同開催。中国共産党中央政治局委員で中央外事弁公室の王毅主任、福田康夫元首相があいさつを行い、両国の政府機関、民間団体、企業、メディアなど各界代表の約200人が出席した。同日、日中交流促進実行委員会は東京で日中平和友好条約締結45周年記念セレブレーションを開催。上川陽子日本外務大臣、吳江浩駐日本中国大使らがあいさつを行い、日本の政治、経済界、友好団体の関係者1000人余りが出席した。



10月23日と25日の両日

韓正副主席と王毅主任は釣魚台国賓館で福田康夫元首相と福田氏が率いる友好人士訪中団と個別に会見した。

11月9日

中国共産党中央政治局委員で中央外事弁公室の王毅主任は、日本内閣特別顧問で国家安全保障局の秋葉剛男局長と北京で会見し、中日ハイレベル政治対話メカニズム協議を行った。双方は中日の4つの政治文書で定められた諸原則を厳守し、両国関係が健全で安定した発展軌道に戻るよう努力することを重ねて表明した。

11月16日

習近平主席は米サンフランシスコで岸田文雄首相と会見した。双方は4つの政治文書の原則と共通認識を厳守することを重ねて表明し、戦略的互恵関係を全面的に推進する両国関係の位置づけを再確認し、新時代の要求に合った建設的で安定した中日関係の構築に力を入れることを重ねて表明した。

11月25日

王毅中共中央政治局委員（外交部長）は韓国の釜山で中日韓外相会に出席した際に上川陽子日本外相と会見。国家指導者の共通認識をしっかりと実行し、両国関係が健全で正しい軌道に沿って進むよう促すことで一致した。

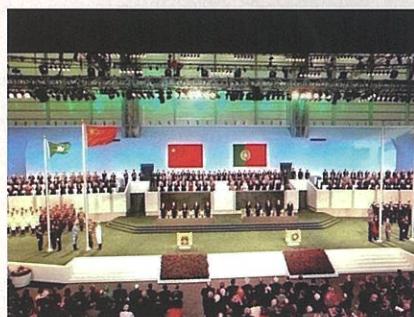
2023年を通じ、両国の官民各界は100回以上にわたって中日平和友好条約締結45周年を記念した多種多彩な催しを行い、両国各界が条約の精神を再度温め、初心を銘記し、原則を実践し、中日関係が健全な発展の軌道に戻るよう促し、共通認識を結集することで力を蓄えた。

2024年の展望

(一) 中華人民共和国成立75周年

1949年10月1日、毛澤東同志は天安門城楼の上で新中国の成立をおごそかに宣言し、中国の歴史は新たな時代を切り開いた。まもなく建国75周年を迎える中国は中国

共産党の指導のもと、全国の各民族人民の努力で復興の新たな道のりを歩み、立ち上がってから豊かになり、強くなるまでの偉大な飛躍を実現した。



(二) マカオ復帰25周年

1999年12月20日、中国政府はマカオでの主権行使を回復した。1997年7月1日の香港復帰に続き、祖国統一という大事業の過程におけるもう一つの歴史的記念碑となった。過去25年で、マカオ特別行政区政府は、各界の人々と団結し、「一国二制度」の方針を全面的かつ正確に理解して実行し、憲法と基本法の権威を断固として守り、愛國・愛マカオという価値観を伝承し、マカオ経済の急速な成長、民生の持続的向上、社会の安定と調和を促進し、マカオの特色を備えた「一国二制度」の成功事例を世界に示した。

(三) 孫中山氏による「大アジア主義」講演100周年

1924年11月28日、孫中山氏は神戸商業会議所など5団体に招待され、神戸高等女学校で「大アジア主義」と題した有名な講演を行った。氏はアジア文化の肯定と希望を表わすとともに西洋文化の全面的な導入に反対し、当時深刻な軍国主義化が進んでいた日本に対し、「霸道たる西洋の鷹の犬になるか、王道たる東洋の牙城になるか」という厳格な「魂への問いかけ」を行った。孫中山氏がこの講演で提起した観点は、今でも重要な実践的価値を持つ。

(四) 上海市と大阪市の友好都市締結50周年

1974年4月18日、上海市と大阪市は正式に友好都市となった。以降、両市間では盛んに公式交流が行われ、密接な経済協力と活発な人的交流が展開されている。教育、文化、環境保全、農業、医療、青少年交流などの分野では広範な交流協力が行われ、豊かな成果を収め、共同発展を促した。2024年は上海市と大阪市の友好都市締結50周年であり、両市にとって重要な発展を実現する大切な機会となる。



写真から振り返る中国駐大阪総領事館 2023



1月18日、卯年の迎春
レセプション



1月20日、2023大阪春節祭



3月8日、三八国際婦人デー映画
招待会



3月21日、中国文化青少年大講堂
「瀬戸の花 友好的懸け橋」中日交
流イベント



3月28日、2023年度広報アドバ
イザー任命式



4月24日、中日韓友好交流
レセプション



5月15日、中日平和友好条
約締結45周年記念「以茶会
友」中日文化交流中国茶会



6月6日、ドキュメンタリー「日本・
中国の架け橋 趙樸初」放映会お
よび中日仏教友好座談会



6月10日と11月23日「一日領事館」in 愛媛・広島



6月18日、大阪府阪南市で
田植えを手伝う



6月18日、駐大阪総領事館による
新疆ツアーフィルム上映会



7月31日、第6回西日本地区中日友好交流大会



8月10日、関西プレスクラブで講
演「中日平和友好条約締結45
周年における中日関係」を行う



8月22日、七夕特別婚姻届
提出イベント



8月31日、2023年新疆文
化と観光海外交流イベント(日
本会場)と新疆ツアーフィルム
上映会



9月1日と5日、駐大阪総領事
館による西日本大学生友好訪
中団が2度にわたり行われた



9月14日、ジャイアントパン
ダ「永明」の誕生会



9月22日、中華人民共和国建
国74周年祝賀会並びに中日平
和友好条約締結45周年記念レセ
プション



10月7日と8日、中日平和友好条
約締結45周年記念と大阪中秋明月
祭2023



10月26日、2023大阪中国映画週間



11月1日、薛劍総領事が日本民間外交
推進協会の要請を受け、中日平和友好条
約締結45周年記念特別講演を行った



11月13日、中日平和友好条約締
結45周年記念「船承友好」新鑑真号船
上セレブレーション



11月18日、白書「手を携えて
人類運命共同体を構築:中国の提
唱と行動」セミナー



11月20日、中日平和友好条約締
結45周年記念—中国航空写真展&
パンダ絵画展



11月21日、「平安留学は心から
始めよう」プログラム実施一周年
記念キャンペーン



11月24日、中日平和友好条約締
結45周年記念—中日奉納盆栽
水石展@清水寺



12月5日、関西ブロック日中友好協会
訪中報告会

中華人民共和国駐大阪総領事館

〒550-0004 大阪府大阪市西区鞠本町3-9-2
連絡先: 06-6445-9481 (代表)

制作協力: 中国外文局アジア太平洋広報センター
(人民中国雑誌社、中国報道雑誌社)



総領事
ツイッター



総領事
Facebook



総領事
YouTube



総領事
TikTok



総領事
HP